

# みどりを守る活動

## 長野県松本市立 錦部小学校

6年 川窪 悠大・土屋 貴紀

### 学校紹介

錦部小学校は、長野県の中信地区、松本の北に位置しています。松本市内から刈谷原トンネルをぬけてすぐにあります。山々に囲まれ、春には、木々の新芽をバックに、桜が美しく咲き誇っています。標高723mに位置し、北アルプスの眺めが最高です。錦部は福寿草群生地としても有名で、毎年3月には、黄色いかわいらしい花が雪の合間から顔を出します。

全校児童は、63名。年々人数が減り、25年度の4月には四賀地区の4小学校と統合し、四賀小学校になります。錦部の名前がなくなってしまうことは悲しいことですが、現在、学校では、そんな悲しさを吹き飛ばそうと、楽しい思い出作りに力を入れています。「地域に感謝し、笑顔あふれる楽しい学校」という児童会スローガンを掲げて、全校児童で仲良しの学校をめざしています。



各小学校の取り組み⑳

### 活動場所の紹介

学有林は、学校からおよそ2.5kmと離れていますが、年に1度、みんなで歩いて学有林の整備に行っています。学有林には50年生の赤松が育っています。この赤松は人の手によって植えられたもので、ちょうどその時代にはたくさん木を植えようという活動が盛んだったそうです。その森を、しっかりと手入れをし、現在の、とてもきれいに整備された学有林が存在しています。毎年、下草刈りをしたり、枝払いをしたり、行政の関係者の皆様にも間伐をしてもらったりなど、森の大切さを学ぶ貴重な機会となっています。



### 今後の夢、希望、活動計画など

あと1年半で錦部小学校は閉校し、四賀4校が統合した四賀小学校へと変わりますが、四賀小学校でも、学有林の整備をしたり、森の役割や自然の大切さを学びながら、自然とふれあう機会を設け、四賀の自然のすばらしさを他の地区に発信できるようにしていきたいです。



長野県松本市立錦部小学校

# 僕たちのみどりを守る活動

6年 川窪悠大 土屋貴紀

### 児童会活動

## クリーン大作戦

月に一度、第1水曜日の登校中に、ゴミ拾い活動をしています。この活動は、日頃、地域の人に助けてもらっているの、何か恩返しをしようということで昨年度からはじめました。



一番多く拾われるのは、燃えるゴミと缶です。地域がきれいになるように、全校でがんばっています。

### 児童会活動

## エコスペース

昨年僕たちのクラスが行っていた空き缶のプルトップとペットボトルのキャップ集めを、全校に伝えようと、今年初めて児童会活動として行いました。全校のみんなや地域にもエコ便りをだして、協力してもらっています。そのおかげで、今、順調に集まっています。



集めたエコキャップは、エコキャップ団体に送り、ワクチンにしよう予定です。

### みどりの少年団

## 学有林の活動

毎年10月の上旬にみどりの少年団の活動で、学有林の整備をします。学有林の枝払いや下草刈りをしたり、林務課の方に間伐してもらったりしています。木がたくさん生えてしまうと光が入らず、細々とした木になってしまいます。それにより、根が張らず、地盤がゆるみ、土砂崩れの原因にもなります。

この活動を行って、年に一度ですが、森の手入れの大切さを学びました。



### イッツ・ア・スモールランド

僕たちの学校には、森の遊び場があります。地域の斉藤さんが作ってくれました。みんなこの遊び場で体いっぱい動かして、緑の中で遊んでいます。



### 閉校イベント…おとまり会

僕たちの学校はあと2年で閉校し、五常・中川・会田の小学校と統合します。そこで思い出を残そうと、おとしから、学校にお泊りイベントをしています。





## 活動発表の講評



中部森林管理局  
計画部長 宿利一弥



「全国子どもサミット」に参加して発表をしてくれた小学生の皆さん、どうもお疲れさまでした。今日は北海道や四国、九州など遠くから集まってくれたお友達や、地元の長野県松本市から来てくれたお友達など、大勢が集まってくれましたが、どの発表もとてもすばらしくて立派だったと思います。

日本の全国各地いろいろなところで、例えば森の中で楽しく遊んだり、木や小鳥、川の生き物など植物や動物のことを調べたり、下草刈りや間伐など森林の木の手入れをしたり、またビオトープの再生といったさまざまな活動が行われているんだなあとということが、皆さんの発表を聞いてよくわかりました。中には、地域の方々といっしょになって体験活動をしたり、森の中で音楽会を開くというお話もありました。自然とふれあい、緑を大切にしてくれている皆さんの活動の一つひとつに大変感心しました。

今日の皆さんの発表がはじまる前には、主催者である実行委員会の方から、地球上にたくさんある生き物の種類の中には、少しずつですが絶滅してしまうものがあるというお話がありました。また、オイスカの方たちからは、日本国内だけでなく、世界の国々で木を植えて森を育てていく活動が行われていることも教えてもらいました。

皆さんもよく知っていると思いますが、森林にはいろいろな働きがあります。木材を作り出すだけでなく、森林は水を蓄えたり、生き物のすみかになったり、山が崩れるのを防いだりしてくれます。また、酸素をつくりだしたり、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐ働きもあります。今年は、世界の国々の集まりである国際連合が森林の大切さを考える年にしようと決めた「国際森林年」になっています。この会場に飾られた旗には国際森林年のマークがありますが、ここには、森林がいろいろな働きをもっていること、そして私たち人間も地球上の生き物の一員として森林の恵みを受けているんだということが表わされています。私は日本で森林を守り育てる仕事をする森林管理局というところにおりますが、皆さんに森林と身近にふれあってもらうことは私にとってもうれしいことです。また、森林のことについて今のうちからいろいろと知ってもらうことは、皆さんがこれからおとなに成長していく上でも大事なことだと思っています。



本日発表いただいた各学校での活動の背景には、先生方のご指導はもちろんのこと、ご父兄や地域の方々のご協力が大きな役割を果たしていることを改めて感じておりました深く敬意を表する次第です。「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 信州が多くの関係団体で構成された実行委員会で開催されていること、また後援機関や協賛企業のご支援にこの場を借りて感謝申し上げます。これからも森林づくりの大切さの輪を全国へ広げていけるよう、またこれからも緑に関わる学校での活動がますます盛んに展開されることを期待しまして、講評に代えさせていただきます。

学校林・遊々の森

全国子どもサミット in 信州



## 当日の様子

- 学校林関係者との交流会
- 先生方の意見交換会
- 森林体験学習